

イトーヨーカドー花巻店の事業承継について

株式会社イトーヨーカ堂は、2月9日、北海道・東北・信越エリアの一部店舗について、事業承継等に関する契約を締結したと発表いたしました。

そのうち、イトーヨーカドー花巻店は、令和7年2月頃、株式会社OIC（オイシー）グループに事業承継されることになりました。

事業承継の経緯について

令和5年3月9日に株式会社セブン&アイ・ホールディングスが「中期経営計画のアップデートならびにグループ戦略再評価の結果について」で公表したとおり、同社は、事業構造にまで踏み込んだ抜本変革の一つとして、イトーヨーカドー店舗網の「首都圏へのフォーカス加速」を進めておりました。

このたびの株式会社イトーヨーカ堂の発表は、北海道・東北・信越エリアにおける地域経済への影響を鑑み、店舗利用者の継続した買い物場所の確保や雇用の維持を目的として、事業承継等いただける後継先について協議を進めてきた結果とのことであります。

イトーヨーカドー花巻店は、利益があがっている店舗であると伺っていたところでありますが、花巻店への商品配送と同一ルート上にある青森県や宮城県などの他店舗が閉店等となった場合、配送ルートの効率性から、花巻店のみが存続することは難しいであろうと考えていたところです。

イトーヨーカドー花巻店は、昭和63年の開店以来35年の長きにわたり、生鮮食品、衣料品、日用品、レジャー用品などの販売はもちろんのこと、従業員の雇用の場の創出、公共交通バスの結節点など、市民の生活を支えていただくとともに、本市中心部において重要な商業施設として多くの市民に愛され続けてきました。本市経済及び市民の生活に多大なるご貢献をいただけてきたことに深く感謝しております。

花巻市との関りと今後の営業について

平成27年には、花巻市、株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び株式会社イトーヨーカ堂との三者間で、地域活性化包括連携協定を締結し、地産地消や市の特産品の販路拡大など連携して多くの取り組みを行ってまいりました。また、イトーヨーカドー花巻店はこの冬の年末年始においても特に好調であるなど黒字を確保していたと伺っていたところであり、そのような中で、今般、首都圏に店舗を集中するとの方針のもと、イトーヨーカドー花巻店としての営業が終了することはとても寂しく感じております。

今後は、首都圏を中心に食品スーパーマーケットを運営する株式会社OIC（オイシー）グループが花巻店の土地・建物を取得し、店舗の営業を続けるとともに、イトーヨーカドー花巻店の従業員も継続して雇用していただけること、また、現在入居しているテナント各店とは個別に交渉され、条件が整えば、継続してテナントとして営業を続けていただけることと伺っております。市としてもイトーヨーカドー花巻店の場合と同様株式会社OIC（オイシー）グループの店舗運営に協力してまいりたいと考えております。